

# Q. マイナンバーカードの普及促進は

## A. 付加価値を上げていく



おかじま つよし  
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

キラメキ事業

3月定例会

質疑あれこれ

討論・審議結果

一般質問

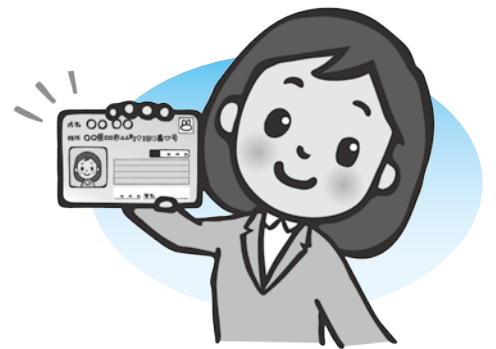
本年9月にデジタル庁の創設が予定され、マイナンバーカードの普及促進について、関連業務が総務省から移管される。マイナンバーカードは最高位の身分証明書であり、これからの社会には欠かせなくなる。

Q 豊山町のマイナンバーカード普及率は。

A 生活福祉部長  
令和3年2月末時点で20・6%である。

Q マイナンバーカードを利用することによって受けられる行政サービスの利点は。

A 総務部長  
転入転出の手続きや個人町民税の申告などマイナンバーの提示が必要な場面で利用できる。各種行政手続きがオンラインで申請できる。金融機関の口座開設時など本人確認の身分証明として利用できる。



Q 今後の普及促進を、どのように進めるのか。

A 生活福祉部長  
マイナンバーカードの交付申請は、郵送、スマートフォン、パソコン、証明写真機からできる。このうち、郵送とスマートフォンによる申請において書き方や操作手順の分からない方に、交付申請の支援をしている。  
また、マイナンバーカードを使用して、全国のコンビニなどで住民票の写しなどが取得できるサービスが始まっている。このように付加価値を上げることによって、取得促進に繋がると考えている。

# Q. 地域猫活動の予定は

## A. 住民主体による活動は歓迎

愛知県の所有者のいない猫の適正管理マニュアルでは、地域猫活動とはノラ猫を適切に飼養・管理するために地域住民の理解と協力のもと共同飼養する活動となっている。

所有者のいない猫に不妊去勢手術を行い、今以上に数が増えないよう管理し、餌やりやフンの始末を適切に行う地域猫活動がある。

Q 地域猫活動の取り組みを行う予定はあるか。

A 生活福祉部長  
町として、住民主体による地域猫活動は歓迎する。

Q 他市町では猫の不妊去勢手術に補助金を出している。本町も出しているかどうか。

A 生活福祉部長  
他市町は、地域猫活動を

している地域や団体を対象に補助をしている。町としては、地域猫活動の取り組みが進むことを期待している。

Q 公益財団法人どうぶつ基金のさくら猫不妊無料手術事業に参加しては。

A 生活福祉部長  
さくら猫不妊無料手術事業は、飼い主のいない猫に対し、不妊去勢手術を行い、その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットをし元の場所に戻す、地域猫活動の支援を目的として行っている。登録は地域猫活動の活動状況を踏まえながら調査、研究していく。

